

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	53299	源流の森づくり事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	○ A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	8 豊かな自然環境を守り、環境モデル都市をつくります ・森林等の自然環境を資源として守り活用するため、自治体・企業間交流 等、都市部の自治体との連携等を実施します
種別				款	5 農林水産業費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線		項	3 林業費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	600 千円			
		3431		目	2 林業振興費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント参加者	どうしたい のか (意図)	・林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	概要	事業の実施 手法(手段)	・源流の森づくりイベントの開催など森と親しむ機会の充実を図る ・イベントを開催する飛騨一之宮源流の森ふれあい実行委員会に負担金を交付する
	対象者数	50 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・第20回源流の森づくりの開催(6月25日) ・飛騨一之宮源流の森ふれあい実行委員会による位山登山道整備奉仕活動(10月20日)							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	イベント回数		回	目標値 実績値	2 1	1 1	1 /	1 /
成果 指標	算出根拠等			達成率(%)	50	100	/	/
	イベント参加者数		人	目標値 実績値	150 64	60 47	50 /	40 /
成果 面	算出根拠等			達成率(%)	43	78	/	/
				目標値 実績値			/	/
成果 面	算出根拠等			達成率(%)			/	/
				目標値 実績値			/	/
成果 面	算出根拠等			達成率(%)			/	/
				目標値 実績値			/	/
補足	算出根拠等			達成率(%)			/	/
	・イベント参加者数のほとんどが一之宮地域の住民である							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・イベント参加者数が減少しているため、魅力あるイベントになるよう内容の充実を図る必要がある ・他事業と連携するなど地域間交流を視野に入れた取り組みや工夫が必要である
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・「いのちの森づくり」プロジェクトと連携したイベントを実施する
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 維持・改善 拡大 ○ 縮小 廃止検討
	・他事業と連携することにより、充実した内容のイベントを実施する ・地域主体の事業とすべく、特例期間終了を見据え、行政の関与を段階的に縮小する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 870	800	700	600
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 13,594	17,021	14,000	15,000
	受益者	イベント参加者 (B) 64	47	50	40

5 予算編成(Action2)

事業内容	源流の森づくり(自然・林業体験教室)イベントに対する負担金	要求の ポイント	イベント等開催に必要な負担金を計上	事業 実施 の 課題	林務課 ・地域主体の開催となるよう実施主体の体制の強化等を図る必要がある。 地域 政策 課 イベント参加人数が減少しているため、魅力あるイベント内容の充実 やPR強化を図る必要がある。 予算の主旨を鑑み、単なるイベント的なものにならないよう、自然環境教育の 観点から内容を見直す必要がある。
------	-------------------------------	-------------	-------------------	---------------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	700	600	△ 100	600	600	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	700	600	△ 100	600	600		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	観光イベント開催事業	内線	3431	予 算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	○ A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺や自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	款 6 商工費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	一之宮支所 基盤産業課			1	項 2 観光費	目 1 観光振興費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	2,500 千円			
					D その他事業							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	イベント参加者	どうしたい のか (意図)	・人々のところを魅了する通年型の観光地づくりを行う	概要	事業の実施 手法(手段)	・四季を通じて楽しむことのできる魅力あるイベント(飛騨生きびな祭り、臥龍桜・桜まつり、飛騨一之宮・納涼夏祭り、モンデウス・スペシャルホリデー)を開催する ・イベントを開催する飛騨一之宮イベント推進実行委員会に負担金を交付する
	対象者数	50,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・飛騨生きびな祭りの開催(4月2日、4月3日) ・臥龍桜・桜まつりの開催(4月9日～5月5日) ・飛騨一之宮・納涼夏祭りの開催(8月14日) ・モンデウス・スペシャルホリデーの開催(1月15日)						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	イベント回数	回	目標値	5	4	4	4
			実績値	4	4		
算出根拠等			達成率(%)	80	100		
成果 指標	イベント参加者数	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
			実績値	56,300	45,900		
算出根拠等			達成率(%)	113	92		
成果 面			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足	・飛騨生きびな祭りについては、第60回の記念として特別に2日間開催						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・イベント参加人数が減少しているため、魅力あるイベントになるよう内容の充実を図る必要がある ・自己負担確保のため、新たな協力金などの検討が必要である
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・事業コストの縮減を図りつつ、魅力あるイベントを開催するため、イベントの内容の見直しを実施する	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・地域に根差したイベントを持続的に開催できるよう、イベント内容や運営方法などの見直しを実施する
	○ 二次評価 拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,469	2,999	2,800	2,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	62	65	56	50
	受益者	イベント参加者	(B)	56,300	45,900	50,000

5 予算編成(Action2)

事業 内容	観光イベント(飛騨生きびな祭、臥龍桜・桜まつり、飛騨一之宮納涼まつり、モンデウススペシャルホリデー)に対する負担金	要求の ポイント	事業 実施の 課題	観光 課	地域振興特別予算が平成26年度までの時限的の制度であることから、今後、段階的に自己負担割合を増やしていき、地域で自主的に運営できるよう見直し、実施に努めること。
				地域 政策 課	合併前から実施している行事・イベントについては、今後の方向性について各事業の内容や地元負担割合等の精査を行うとともに、継続について、地域と十分協議する必要がある。 来場者とその属性、交通・景観・環境・衛生面など様々な視点から事業の効果、改善点を検証する必要がある。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,800	2,500	△ 300	2,500	2,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,800	2,500	△ 300	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	臥龍桜日本画大賞展開催事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつなげる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	審 核			款	9	教育費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	一之宮支所 地域振興課		内 線 3421	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	9,400	千円			
	目	6		文化振興費	D	その他事業									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか (意図)	・文化芸術に対する関心の向上を図るとともに、人材の発掘、育成をめざす。(小中学生等) ・市民(小中学生、一般)が優れた芸術文化(絵画)に触れられる機会を創出する。 ・臥龍桜の名にちなんだ全国公募展覧会を開催し、国指定天然記念物「臥龍桜」を全国に発信する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・小中学生部門を設け、審査会・展覧会を開催する。 ・全国の日本画家へ「臥龍桜日本画大賞展」への公募を行う。 ・市内のほか都市部での展覧会の開催。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・第22回臥龍桜日本画大賞展を開催し、全国より公募の結果、419点の応募があり、大賞1点、優秀賞2点、奨励賞5点、桜賞1点、入選63点、計72点を選出した。 ・小中学生部門では、市内の全小中学校に募集の結果、18校から479点の応募があり、大賞1点、優秀賞6点、奨励賞9点、入選44点、計60点を選出した。 ・展覧会は、高山展が14日間で670人、岐阜展が6日間で1,250人、述べ1,920人の来場者があった。						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	全国公募による日本画展の応募作品数	点	目標値	400	400	400	400
			実績値	298	419		
算出根拠等			達成率(%)	75	105		
活動指標	小中学生部門の応募者数	人	目標値	500	500	500	500
			実績値	521	479		
算出根拠等			達成率(%)	104	96		
成果指標	展覧会の一当たりの入場者数	人	目標値	100	100	100	100
			実績値	94	96		
算出根拠等			達成率(%)	94	96		
成果指標	入場者数/開催日	人	目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	入場者数/開催日	人	目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
補足	入場者数/開催日	人	目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・現在の事業実施の中でコスト削減に取り組んでいるが、今後の開催内容、運営方法を検討し、更なるコスト削減に向けた検討が必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・市民が芸術文化に触れる機会を提供するため、展覧会の更なる入場者数の増加をめざし、周知の方法を検討する。 ・小中学生部門では、若年層の芸術的素養の更なる発掘を目指すため、審査員を交代し、新たな観点による審査を行う。
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,175	8,349	9,400	9,400
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	87	89	101	101
	受益者	全市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・全国公募による「臥龍桜日本画大賞展」の実施 ・市内の小中学校を対象にした小中学生部門の実施 ・市内及び都市部での展覧会の開催	要求の ポイ ント	・臥龍桜にちなんだ公募の日本画大賞展は、20回を超える開催で全国的に知られており、市民にも広く芸術文化に触れられる機会を与えている。文化芸術への関心の高まりや人材発掘、育成を行うため継続して実施する。	事業 実施 の 課題	・今後の開催内容、運営方法を検討し実施する必要がある。	生 涯 学 習 課	・臥龍桜日本画大賞展は、他の公募展に比べ多額の経費がかかっている。 ・他の公募展との関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施手法、経費の節減等について検討する必要がある。	地 域 政 策 課	・市が事業主催者となっていることについて、今後の事業のあり方とともに検討が必要である。
------	---	-----------------	--	---------------------	-----------------------------	-----------------------	--	-----------------------	---

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	9,400	9,400	0	9,400	9,400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他	1,900	1,900	0	1,900	1,900		
一般財源	7,500	7,500	0	7,500	7,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	飛騨位山文化交流館美術展覧会事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	○	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつなげる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	款			9	教育費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業							
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	3412	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	330	千円			
				目	6	文化振興費		D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたいのか(意図)	・幅広く、文化芸術に触れる機会を創出する。 ・市所蔵作品の有効活用を図る。 ・日本画展による市所蔵作品や審査員の作品を鑑賞する機会を利用し、臥龍桜日本画大賞展の知名度アップを図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・第1回からの大賞作品や歴代審査員による優れた日本画作品の展覧会を開催する。 ・国指定天然記念物「臥龍桜」の満開時期に合わせて展覧会を開催する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	第1回～第21回までの大賞作品(23点 連作2作品含む)と高山市所蔵の歴代審査員作品(約15点)の計38点を展示した展覧会を開催し、4月13日から5月1日までの19日間に延べ557名の来場者があった。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	展覧会の開催日数	日	目標値	17	17	17	17
		実績値	17	19				
	算出根拠等		日数	達成率(%)	100	112		
	成果 指標	開催期間中の入場者数	人	目標値	650	650	650	650
		実績値	566	557				
	算出根拠等		実績値/目標値	達成率(%)	87	86		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	展覧会入場者数は臥龍桜の開花状況によって異なることから、開花から満開に合わせた展覧会の開催期間の設定が難しい。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	当事業は既に終了したが、今年の開花は例年に比べ1週間程度遅れたため、当初想定した開花時期と開催期間との整合がとれず開催前半の入場者数が少なかった。今後は開花予想を工夫し開催期間を設定する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・国指定天然記念物「臥龍桜」の満開時期に開催し、来場者へのPR方法の充実に努める。 ・臥龍桜の開花時期に併せて楽しんでいただける新たな展覧会の企画に努める。
	○維持・改善	
二次評価	拡大	・市美術展覧会、木版画ビエンナーレ(隔年)を合わせた3つの公募展の関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施方法等について検討する必要がある。
二次評価	縮小	
二次評価	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	143	194	330	330
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2	2	4	4
	受益者	全市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・第1回からの大賞作品や歴代審査員の優れた日本画の展覧会開催。 ・国指定天然記念物「臥龍桜」の満開時期に合わせて展覧会の開催。 ・日本画のみならず、幅広い分野の芸術展の開催。	要求のポイント	・一人でも多くの人に市所蔵品の鑑賞機会を提供し、芸術文化活動の更なる浸透を図る。	事業実施の課題	・満開時の「臥龍桜」と市有美術品等による展覧会開催との相乗効果を最大限に生かす誘客方法を検討する必要がある。 ・市が事業主催者となっていることについて、今後の事業のあり方とともに検討が必要である。	生涯学習課	・臥龍桜日本画大賞展は、他の公募展に比べ多額の経費がかかっている。 ・他の公募展との関連や位置づけ、市民を巻き込んだ実施手法、経費の節減等について検討する必要がある。
------	---	---------	--	---------	---	-------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		330	330	0	330	330	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	330	330	0	330	330		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業(全日本選抜ローラースキーみや大会開催事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	<input type="radio"/>	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款			9	教育費	<input type="radio"/>		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線 3421		項	5	保健体育費		<input type="radio"/>	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	700 千円	
				目	1	体育総務費		<input type="radio"/>	D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市内のクロスカントリー選手、一之宮地域の住民	どうしたいのか(意図)	・県スキー連盟と地域が一体となって運営を行うことで、地域の若者たちの運営参加を促すとともに地域活力の向上を図る。 ・クロスカントリー選手のすそ野を広げるとともに、夏期強化の大会として開催することにより選手の育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 全日本選抜ローラースキーみや大会への助成。 インターネット等を活用した全国PRでの参加選手募集。 大会は関係者と地域ボランティアが協力して運営。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	全国に参加選手を募集し、147名の選手の応募があり、地元ボランティアの運営で7月30日～31日に大会を実施した。						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	出場者数	人	目標値	180	180	180	180
成果指標	算出根拠等		実績値	181	147		
	出場者数前年比率	%	達成率(%)	101	82		
算出根拠等	目標値		100	100	100	100	
	実績値		97	81			
算出根拠等	当年参加者数/前年度参加者数		達成率(%)	97	81		
	目標値						
算出根拠等	実績値						
	達成率(%)						
算出根拠等	目標値						
	実績値						
算出根拠等	達成率(%)						
	目標値						
算出根拠等	実績値						
	達成率(%)						
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・大会参加者の増加とボランティアの協力体制を推進するため、他の地域行事との調整が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・事務局体制の移行と運営方法の検討。	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・自主運営による事業の実施を検討しながら予算の縮小を図っていく。
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input checked="" type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	850	800	750	700
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	9	9	8	8
	受益者	市内クロス選手、一之宮住民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・全日本選抜ローラースキーみや大会への助成	要求のポイント	・自主活動として定着させるとともに継続した事業として確立するため実施	事業実施の課題	・自主運営による事業の実施を推進しながら予算の縮小を図っていく。	スポーツ推進課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域政策課	同上						

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		750	700	△ 50	700	700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	750	700	△ 50	700	700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (川上岳・位山縦走登山事業)	内線 3421	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	O	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	款 9 教育費				B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 地域振興課			目 1 体育総務費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	D その他事業	H25計画額	60 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・登山を通して、健康増進を図る。 ・宮川源流域の自然環境に対する保護意識の高揚を図るとともに、森林環境の重要性を認識してもらう。	概要	事業の実施 手法(手段)	・川上岳登山事業への助成。 ・スポーツ推進員とNPO(環境保護、文化伝承等)とがタイアップし、実行委員会形式で開催する。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市民に川上岳登山の応募を行い74名の参加応募者があった。6月26日に事業を計画したが雨のため中止となった。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	参加者数	人	目標値	60	60	60	60
				実績値	60	0		
	算出根拠等			達成率(%)	100	0		
	成果 指標	参加者数前年比率	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	95	0		
	算出根拠等			達成率(%)	95	0		
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・実行委員による自主事業としての取組体制を確立することが必要。
---------------------	---------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・実行委員による自主事業としての取組体制を確立。	
次年度 の実施 方針	維持・改善	・実行委員会の自主事業としての展開が必要である。
	拡大	
二次 評価	○ 縮小	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	廃止検討	
二次 評価	維持・改善	
	○ 縮小	
二次 評価	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 90	0	70	60
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 1	0	1	1
	受益者 全市民(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・川上岳登山事業への助成	要求 の ポ イ ン ト	・自主活動として定着させるとともに継続した事業として確立するため実施	事業 実 施 の 課 題	支 所	・実行委員会による自主事業としての運営を確立し予算の縮小を図る。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
							地域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		70	60	△ 10	60	60	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	70	60	△ 10	60	60		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (モンデウススキー大会開催事業)	内線 3421	特別 予算の 位置 付け	○ A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業							
担当課	一之宮支所 地域振興課			目	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	700 千円	
	項	5 保健体育費	D その他事業					
会計	1 一般会計	款	9 教育費					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民(ジュニア:7歳~15歳、シニア:40歳~)	どうしたいのか(意図)	・市民(ジュニア、シニア)の体力維持、体力増進を図る。 ・モンデウススキー場への誘客促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・モンデウススキー大会開催事業への助成。 ・ジュニアスキー大会の開催。 ・シニアスキー大会の開催。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	モンデウススキー大会実行委員会によって、2月5日にジュニアスキー大会(参加者252名)、2月22日にシニアスキー大会(参加者95名)が開催された。							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	ジュニアスキー大会参加者数	人	目標値	300	300	300	300	
活動指標	算出根拠等		ジュニアスキー大会参加者数	実績値	208	252		
	算出根拠等		達成率(%)	69	84			
活動指標	指標名		単位	目標値	150	150	150	150
	シニアスキー大会参加者数	人	実績値	102	95			
活動指標	算出根拠等		シニアスキー大会参加者数	達成率(%)	68	63		
	算出根拠等		達成率(%)	68	63			
成果指標	指標名		単位	目標値	100	100	100	100
	ジュニアスキー大会参加者数前年度比率	%	実績値	87	121			
成果指標	算出根拠等		当年度参加者数/前年度参加者数	達成率(%)	87	121		
	算出根拠等		達成率(%)	87	121			
成果指標	指標名		単位	目標値	100	100	100	100
	シニアスキー大会参加者数前年度比率	%	実績値	78	93			
成果指標	算出根拠等		当年度参加者数/前年度参加者数	達成率(%)	78	93		
	算出根拠等		達成率(%)	78	93			
成果指標	指標名		単位	目標値	45,000	45,000	45,000	45,000
	モンデウススキー場年間利用者数	人	実績値	43,195	45,072			
成果指標	算出根拠等		実績値/目標値	達成率(%)	96	100		
	算出根拠等		達成率(%)	96	100			
補足	指標名		単位	目標値				
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・実行委員会による自主運営の方法と組織体制の確立。 ・新たなスポンサーや協賛金の確保等で負担金の減額を図る。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・実行委員会による自主運営の方法と組織体制の確立。	
次年度の実施方針	維持・改善	地元密着の事業として、運営を地域主体で行っているが、今後の継続には自主財源の更なる確保が必要である。
	縮小	
二次評価	維持・改善	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	縮小	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 1,000	900	800	700
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B) 11	10	9	8
	市民(ジュニア、シニア)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・モンデウススキー大会開催事業への助成	要求のポイント	・自主活動として定着させるとともに継続した事業として確立するため実施	事業実施の課題	支所 ・実行委員会による自主事業としての運営を確立し予算の縮小を図る。	スポーツ推進課 地域政策課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
------	---------------------	---------	------------------------------------	---------	--	------------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	800	700	△ 100	700	700	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	800	700	△ 100	700	700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	巨樹巨木保護管理事業	内線	3431	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
種別						2 総務費		○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 基盤産業課			項	1 総務管理費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業		H25計画額	370 千円			
				目	18 環境政策費	D その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・恵まれた自然を守り、生かすという意識の高揚を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域に残る巨樹・巨木の保護・保全活動を行う
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・防護柵修繕整備(宮の大イチイ) ・通路などの草刈り(ネズコの太木、岩岳のイチイ、谷桶のモミ) ・セラミック炭の散布(ネズコの太木、岩岳のイチイ、谷桶のモミ)						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	セラミック炭の散布回数	回	目標値	1	1	1	1
	実績値	1	1				
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
活動指標	草刈りの回数	回	目標値	1	1	1	1
	実績値	1	1				
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果指標	位山登山者数	人	目標値	1,800	1,900	2,000	2,100
	実績値	1,750	2,270				
	算出根拠等		達成率(%)	97	119		
成果指標			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
成果指標			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・「いのちの森づくり」プロジェクトにより周辺樹木との共生を図ることが必要との指導を受けている						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・市民に巨樹・巨木の場所を知ってもらい、現地に足を運んでいただけよう環境整備を行う必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・「いのちの森づくり」の考え方に即した保護・保全を引き続き、実施する	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・「いのちの森づくり」の考え方に即した保護・保全を引き続き、実施する
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・観光資源としての活用の観点から、市内外への周知・PRIについて検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 287	269	370	380
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 3	3	4	4
	受益者 全市民	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	巨樹・巨木を保護管理するためのセラミック炭散布や草刈りなど	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	市内外への周知・PRを行う必要がある。	環境 政策 推進 課	地域 振興 特別 予算 措置 期間 終了 後を 見据 えた 方針 の策 定が 必要 である。
						地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		370	380	10	370	370	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
一般財源		370	380	10	370	370		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	自然生態系保全事業	内線	3431	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
種別						2 総務費		○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 基盤産業課				項	1 総務管理費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	130 千円		
					目	18 環境政策費		D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・恵まれた自然を守り、新たな観光スポットとして創出する	概要	事業の実施 手法(手段)	・自然保護団体との連携のもと地域に残る桜やバイカモの保護・保存活動を行う ・桜やバイカモを守る活動を行う団体に対し補助金を交付する
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・桜のテング巢病除去、道路障害枝・雪折れ枝の伐採 ・河川清掃、バイカモの移植							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	自然保護団体数	団体	目標値	2	2	2	2
				実績値	2	2		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	活動 指標	桜の保護・保全活動参加者数(延べ人数)	人	目標値	80	70	70	70
				実績値	80	70		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	活動 指標	バイカモの保護・保全活動参加者数(延べ人数)	人	目標値	62	56	56	56
				実績値	62	56		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果 指標	臥龍桜・桜まつり入場者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
				実績値	50,000	35,000		
算出根拠等			達成率(%)	125	88			
			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
・桜やバイカモの開花状況について、問合せが複数ある								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・バイカモの個体数が減少しているため、有識者などの指導をうけながら適正に管理する必要がある
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・天然記念物(希少動植物)生態環境調査事業の中でバイカモの生態系調査を実施し、新たな管理手法を検討する	
次 年度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・桜の保護・保全については、継続して適正管理を実施する ・バイカモについては、新たな管理手法に基づいて個体数を増やすような管理を行う
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二 次 評 価	○ 維持・改善	・自然環境の保護・保存に取り組む市民団体等に対する支援のあり方について整理する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	110	110	130	130
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	1	1
	受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	桜やバイカモの保護活動に対する助成	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	環境 政策 推 進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要であると ともに、保護管理手法についても、改めて再検討する必要がある。
				地域 政策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		130	130	0	130	130	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	130	130	0	130	130		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	31399	地域老人福祉推進事業費 (老人クラブ活動費助成事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	5 医療・福祉を充実させます 地域住民が互いに支えあう仕組みや、緊急時の支援を万全にするため、 独居老人、要援護者等への地域福祉体制を整備します。
	款			3	民生費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
	項			1	社会福祉費			C	終期を定めて実施する事業・単年度事業				
	目			3	老人福祉費			D	その他事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課		内線	3413		H25計画額		420 千円					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	60歳以上の市民で構成される単位老人クラブ及び連合組織	どうしたいのか (意図)	地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。
	対象者数	10,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	市連合長寿会に対して、事務局人件費を助成。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	連合長寿会会員数	人	目標値	10,500	10,500	10,000	10,000
				実績値	10,405	9,796		
				算出根拠等	達成率(%)	99	93	
	活動指標	連合長寿会単位老人クラブ数	クラブ	目標値	150	150	143	139
				実績値	150	143		
				算出根拠等	達成率(%)	100	95	
	活動指標	連合長寿会加入率	%	目標値	42	43	40	40
				実績値	42	39		
				算出根拠等	連合長寿会加入者数/65歳以上人口	達成率(%)	99	91
	活動指標				目標値			
					実績値			
					達成率(%)			
	活動指標				目標値			
					実績値			
					達成率(%)			
成果指標				目標値				
				実績値				
				達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・新規加入者が少なく、連合長寿会会員の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりを深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善	・老人クラブ活動費補助金(31336事業)との一本化を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・市域全体としては、会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、老人クラブ活動費補助金との一本化については、今後の支援のあり方も含めて検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	420	420	420	420
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	729	753	755	755
	受益者	一之宮区会員(4月1日現在)	(B)	576	558	556

5 予算編成(Action2)

事業内容	・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブの各種活動の育成、支援を行うため、その事務局人件費の助成を行う。	要求の ポイント	・各区老人クラブ事務局人件費	事業 実施の 課題	・高齢者の地域活動を推進するために引き続き支援する必要がある。	高 年 介 護 課	・地域を基盤とした老人クラブ活動の展開と、まちづくりへの高齢者の参画を支援し、より一層の活発な取り組みにするため、一般予算(31336事業 老人クラブ活動費補助金)へ移行する必要がある。
						地 域 政 策 課	・支所地域の老人クラブへの補助は人件費を補助対象としているため、早急に高山地域と同条件となるよう調整し、一般予算化の検討が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		420	420	0	420	420	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金	280	280	0	280	280		
	その他			0				
	一般財源	140	140	0	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	61199	位山交流促進センター管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	2 商工業・地場産業をさらに発展させます ・将来の地域経済を支える持続的な振興を図るため、高速交通網や広大な市域の特性を活かした新しい産業育成に取り組み、新規常雇者の増加を目指します
	課			6	商工費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線 3431	項	1	1	商工費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	8,000	千円	
				目	1	商工振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	施設利用者	どうしたいのか (意図)	・地域の特色を活かした魅力ある商業の振興を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	・道の駅がもつ販売機能の強化と活用を行う ・施設の管理は、財団法人 位山ふれあいの里に委託する
	対象者数	63,000					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・道の駅の附帯施設として位山交流センターの管理運営を実施する							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	施設営業日数	日	目標値	325	325	325	325	
成果 指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100			
	施設利用者数	人	目標値	63,000	63,000	63,000	63,000	
成果 面	算出根拠等		達成率(%)	93	97			
	目標値		実績値					
補足	算出根拠等		達成率(%)					
	・源流の森づくりやグリーンツーリズムなど各種イベントが開催され誘客を図っている							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・年間を通して集客できるような環境整備や赤字を解消するよう経営改善に取り組む必要がある
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・更なる集客を目指し、施設整備や環境整備を実施する	
次年度の実 施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・道の駅の附帯施設として、適正に運営するとともに、四季を通して集客を図れるよう経営改善を行う
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・老朽化や採算面から厳しさが増しており、他のスキー場とも関連した今後のあり方などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	8,000	8,000	8,000	8,000
受益者	施設利用者	(B)	58,408	61,346	63,000	63,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	137	130	127	127

5 予算編成(Action2)

事業内容	位山交流促進センター(道の駅付帯施設)の管理	要求の ポイント	事業実施の 課題	商工課 赤字施設であるため、経営改善及び施設の方向性の検討が必要である。 地域政策課 誘客促進に向けた施設の利用方針を検討する必要がある。 利用状況・経営状況を踏まえ、施設の在り方や活用方針について、検討する必要がある。
------	------------------------	-------------	-------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	8,000	8,000	0	8,000	8,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	8,000	8,000	0	8,000	8,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	72199	地域道路橋りょう管理振興事業 (市道未登記用地測量事業)	内線 3431	予 算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公 約
	款 7 土木費				○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 基盤産業課			1	項 2 道路橋りょう費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	500	千円	
					目 1 道路橋りょう総務費					D その他事業

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・未登記路線を整理し、市道の適正な管理を行う	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道未登記箇所の確定測量を行い登記関係書類を作成し、所有者からの寄付により道路用地として高山市へ所有権移転登記を行う
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・未登記路線の確定測量及び分筆測量							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	未登記完了路線数		路線	目標値	1	1	1	1
		実績値		0	0			
算出根拠等		達成率(%)		0	0			
成果 指標	登記完了率		%	目標値	67	75	83	83
	実績値			58	58			
算出根拠等		登記完了路線数/未登記路線数		達成率(%)		87	77	
成果 面				目標値				
	実績値							
算出根拠等		達成率(%)						
				目標値				
	実績値							
算出根拠等		達成率(%)						
補 足				目標値				
	実績値							
算出根拠等		達成率(%)						
・整理困難な案件が残っている								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・寄付に対して理解が得られない要因としては、当時土地の交換を条件提示している
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・相続問題の早期解消や寄付に対して理解が得られるよう交渉する	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・計画的に未登記路線の解消に取り組んでいく
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・平成26年度までに重要路線の未登記処理を完了できるよう積極的に取り組んでいく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	498	500	500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	5	5	5
受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	市道未登記用地の調査、測量、登記	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実 施 の 課 題	支 所	相続問題の早期解消や寄付に対して理解が得られるよう引き続き交渉が必要である。	維 持 課	世代交代が進んでいくため、早めに地権者の承諾を得て、未登記路線の解消を進めること。
						地 域 政 策 課	積極的に事業を推進すること。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		500	500	0	500	500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	500	500	0	500	500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74599	地域景観保全振興事業 (桜の里づくり)	内線 3431	予 算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	款 7 土木費				○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	一之宮支所 基盤産業課			目 5 景観保全総務費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,400 千円				
					D その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・桜を基調とする地域個性の創出として桜の舞う地域づくりを行う	概要	事業の実施 手法(手段)	・桜を適正に管理するために補植、防除及び施肥を実施する
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・桜の防除・施肥・枝打ちの実施						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	桜の維持管理本数	本	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000
成果 指標	算出根拠等		実績値	1,000	1,000		
	達成率(%)		100	100			
成果 指標	臥龍桜・桜まつり入場者数	数	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
	算出根拠等		実績値	50,000	35,000		
成果 指標	達成率(%)		125	88			
	算出根拠等						
成果 指標	目標値						
	実績値						
成果 指標	達成率(%)						
	算出根拠等						
成果 指標	目標値						
	実績値						
成果 指標	達成率(%)						
	算出根拠等						
補 足	目標値						
	実績値						
補 足	達成率(%)						
	算出根拠等						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・毛虫の防除に関して、新たな管理手法を検討する必要がある ・桜の管理について、「一之宮桜を守る会」と連携を図りながら実施する必要がある
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・桜の防除について、有識者の意見を聞きながら新たな管理手法を一部試験的に実施し効果を検証する ・桜の枝打ち、整姿については、「一之宮桜を守る会」と協議しながら実施する。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・桜の新たな管理手法を取り入れ、「一之宮桜を守る会」との連携のもと、桜を適正に管理する
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・類似事業との整理とともに、他の地域とのバランスを考慮し、今後の適正な管理手法を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,069	1,089	2,600	8,550
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	11	12	28	92
	受益者 全市民	(B)	93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内 容	・桜の保護管理や整姿・剪定整備及び桜育苗地の返還に伴う敷地整備	要 求 の ポ イ ン ト	・桜の保護管理や整姿・剪定整備及び桜育苗地の返還に伴う敷地整備に必要な経費を計上	事 業 実 施 の 課 題	・桜育苗地を土地所有に返還する必要がある。	都 市 整 備 課	・桜育苗地の既存桜苗について整理が必要である。
						地 域 政 策 課	・桜の保護管理については、地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		2,600	8,550	5,950	8,300	8,300	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	2,600	8,550	5,950	8,300	8,300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94199	花いっぱい運動事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	4 個人・家庭・地域を大切に する社会を築きます ・市民が幸せな家庭生活を送り、安心して暮らせる地域を築くため、地域の自主的なコミュニティ活動や環境整備事業の予算枠を確保します。	
種別				款	9	教育費		○	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業
担当課	一之宮支所 地域振興課			項	4	社会教育費			C					終期を定めて実施する事業・単年度事業
内線	3413			目	1	社会教育総務費			D					その他事業
								H25計画額	470 千円					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたいのか(意図)	・地域住民が花壇づくりに参加することで、地域コミュニティの醸成を図る。 ・花づくりを通して、美しい地域づくりに住民みんなで取り組み、地域の絆を強めるとともに豊かな心を育成する。	概要	事業の実施手法(手段)	・一之宮町町内会へ花苗・肥料等の配付を行う。(19班) ・一之宮町子ども会へ花苗・肥料等の配付を行う。(14子ども会) ・花壇づくり講習会を開催する。
	対象者数	2,625 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・一之宮地区の町内会(社教・子ども会)等の行う花いっぱい運動のため花苗・肥料等を配付。 ・花壇づくり講習会を開催(社教と共催)。 ・花壇コンクールは社教が主催で実施(社教に属さない4団体不参加)。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	花苗配付数	株	目標値	13,000	13,000	13,000	15,000
				実績値	13,620	12,880		
	算出根拠等				達成率(%)	105	99	
	成果指標	花壇箇所数	箇所	目標値	37	37	37	37
				実績値	37	37		
	算出根拠等				達成率(%)	100	100	
	成果指標	花壇コンクール応募数	団体	目標値	33	33	33	33
				実績値	33	33		
	算出根拠等				達成率(%)	100	100	
	算出根拠等				達成率(%)			
	算出根拠等				達成率(%)			
	算出根拠等				達成率(%)			
	算出根拠等				達成率(%)			
	算出根拠等				達成率(%)			
	算出根拠等				達成率(%)			
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域振興特別予算終了後の支所地域の花いっぱい運動がアンバランスにならないよう、新たな予算の枠組みなど検討が必要。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・今年度は「ぎふ清流国体」があり、選手団等を「お客様」として快く迎えるため、高山地区での開催時期に合わせて、花が満開になるよう指導した。 ・事業存続に向け、地域振興特別予算終了後も一般予算化を検討する。
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討 ○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
次年度の評価	・花いっぱい運動推進のため、継続していく。 ・各支所地域とのバランスの考慮も必要だが、肥料等一部予算縮小の検討可能。
二次評価	・「花いっぱい運動」については、一般予算による補助金(市民憲章推進事業補助金、特色ある地区活動事業補助金等)との整理が必要である。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、助成のあり方・事業費規模などについて検討する必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	360	383	470	470
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	136	145	179	179
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B)	2,641	2,633	2,625

5 予算編成(Action2)

事業内容	・一之宮町町内会へ花苗・肥料等の配付 ・一之宮地区子ども会へ花苗・肥料等の配付 ・宮保育園保護者会等へ花苗の配付 [花壇づくり講習会:4月下旬、肥料・農業配付:5月上旬、花苗配付:6月中旬、審査会:9月上旬]	要求のポイント	市民憲章にある「環境をととのえ」を実践する代表的事業で地域の自主的なコミュニティ活動につなげるために実施	事業実施の課題	支所 花いっぱい運動推進のため、このまま継続して実施。	市民活動推進課 地域政策課	地域社会教育事業は、花いっぱい運動に係る経費として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。予算措置の内容は、管理委託や花苗等の配付等、地域によって異なっている。 現在、市民憲章推進協議会が実施している花いっぱい運動に対する助成等類似事業との関係を整理しているところであり、当面、当該事業を継続するなかで、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
------	---	---------	--	---------	--------------------------------	------------------	--

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	470	470	0	470	470	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	470	470	0	470	470		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94699	地域文化振興事業	内線	3421	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・心の中や生活に潤いと豊かさを醸し出し、生きがいや、若者の社会参加へのやる気づくりにもつなげる芸術文化活動をさらに浸透させ、広げていくために、芸術文化の保存と継承、新たな芸術文化の創出のための予算を総予算枠の1%以上確保します。
	○					B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 地域振興課					C	終期を定めて実施する事業・単年度事業					
						D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたいのか (意図)	・優れた文化に触れる機会を提供する。 ・一之宮地域の住民の文化教養の向上を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域文化振興事業への助成。 ・著名人を講師として招へいし、講演会等を開催する。
	対象者数	2,625 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	一之宮町社会教育推進運営委員会が9月23日にフリーアナウンサー福澤朗氏を招いて講演会を行った。(参加者220人)							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	講演会開催回数	回	目標値	1	1	1	1	
成果 指標	算出根拠等			実績値	1	1		
	講演会入場者数		人	目標値	350	300	300	350
成果 面	算出根拠等			実績値	300	220		
	算出根拠等			達成率(%)	86	73		
補 足	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績値				
補 足	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
補 足	算出根拠等			実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・住民のニーズや事業目的に合う講演者の選定を行うとともに、今後の事業の在り方の検討も必要である。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・住民のニーズや事業目的に合う講演者の選定を行いながら、今後の事業の在り方を検討。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善	・他地域で開催されている同種の事業と全体的な調整が必要である。
	○ 縮小	
二 次 評 価	○ 維持・改善	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。 ・文化芸術鑑賞事業との関係の整理、実績や効果の検証を行う必要がある。
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	800	1,000	800	800
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	303	380	305	305
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B)	2,641	2,633	2,625

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域文化事業への助成	要求の ポイント	・市民ニーズや目的に合った講演者の選定による事業実施	事業 実施 の 課題	・他地域で実施されている同様の事業との調整が必要である。	生涯 学 習 課	・地域文化振興事業は、地域の公民館等において開催される文化祭・芸能祭、文化講演会等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されているが、地域によって、内容・実施主体・助成割合等が異なるため、一定のルール化について検討する必要がある。 ・また、文化芸術鑑賞事業等一般予算で行っている文化振興事業と地域文化振興事業との関係についても整理する必要がある。
地域 政 策 課							・同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		800	800	0	800	800	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	800	800	0	800	800		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	地域伝統芸能保存会助成事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します ・地域の伝統文化を守る活動や、新しい高山の文化を創造していく活動を 支援するため、芸術文化夢基金(芸術文化保存振興ファンド)を創設しま す。
種別				款	9 教育費		○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課			項	4 社会教育費		C 終期を定めて実施する事業・単年度事業				
内線	3421			目	7 文化財費		D その他事業				
								H25計画額	45 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域住民	どうしたい のか (意図)	・地域の伝統芸能(鬮鶏楽)の保存と伝承を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域伝統芸能保存会活動への助成。
	対象者数	2,625 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	一之宮子ども会鬮鶏楽伝承会(5月2日例祭参加)の活動費用に高山市文化財等保護事業補助金を助成した。						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	伝承回数(練習および例祭)	回	目標値	5	5	5	5
			実績値	5	5		
成果 指標	一之宮地域の子どもの参加率	%	目標値	70	70	70	70
	実績値		62	65			
算出根拠等	参加者数/一之宮小5～中3男子		達成率(%)	89	93		
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
算出根拠等			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				
			目標値				
算出根拠等			実績値				
			達成率(%)				
補足							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域の伝統文化継承のため引き続き支援する必要がある。
---------------------	-----------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・伝統芸能保存の観点から、引き続き補助していく。	
次年度の実 施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・伝統芸能保存の観点から、引き続き補助していく。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 45	45	45	45
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 17	17	17	17
	受益者 一之宮地域住民(4月1日現在)	(B) 2,641	2,633	2,625	2,625

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域伝統芸能保存会活動への助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	文化 財課	・民謡などの地域芸能の伝承、後継者の育成は継続的に行うことが大切である。 ・今後も計画的な支援が必要である。 ・公開の場を増やしていくことを他地域も含め検討する。
				地域 政策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	45	45	0	45	45	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	45	45	0	45	45		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	国指定天然記念物「臥龍桜」保護事業	予 算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市 長 公 約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の 伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証 制度を創設します。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線 3421		項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	180 千円			
				目	7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・国指定天然記念物「臥龍の桜」の保護育成を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・岐阜大学林教授等による、国指定天然記念物「臥龍桜」の保護育成指導。 ・臥龍桜周辺の草刈、施肥の実施。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	国指定天然記念物「臥龍桜」の保護育成のため、草刈・施肥を行った。学識経験者の指導を受け支柱交換を行った。							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	岐阜大学林教授等による現地診断回数		回	目標値 実績値	1 1	1 2	1 /	1 /
活動 指標	草刈・施肥の回数		回	目標値 実績値	2 3	2 3	2 /	2 /
	算出根拠等			達成率(%)	100	200	/	/
成果 指標	臥龍桜見学者数		人	目標値 実績値	40,000 50,000	40,000 35,000	40,000 /	40,000 /
	算出根拠等			達成率(%)	125	88	/	/
補 足				目標値 実績値			/	/
	算出根拠等			達成率(%)			/	/

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・保護育成に向けて、引き続き事業を実施していく。
---------------------	--------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・保護育成に向けて、引き続き事業を実施していく。	
次 年 度 の 実 施 方 針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・保護育成に向けて、引き続き事業を実施していく。 ・大規模な保護事業が必要になった場合は、国と連携し計画的な事業実施が必要である。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	85	65	650	650
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1	1	7	7
	受益者	全市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・臥龍桜の保護育成事業	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支 所	・臥龍桜の維持管理のため継続して実施する。	文化 財 課	・天然記念物の保護、育成は継続的に行うことが大切である。今後も国と連 携し計画的な事業実施が必要である。 ・土壌改良は国の補助を検討する必要がある。
						地 域 政 策 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		650	650	0	650	650	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	650	650	0	650	650		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	位山道維持管理事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	9	伝統文化を守り、次代へ継承します ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の 伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証 制度を創設します。
	款			9	教育費	○		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	3412	項	4	社会教育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	300 千円			
				目	7	文化財費		D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・奈良時代からの官道遺構「位山道」(市指定文化財)の維持管理を図る。 ・高山固有の文化を後世に継承する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・位山道の維持管理(草刈)の実施。 ・位山道の修繕。
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	位山道の草刈を2回実施							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	草刈回数	回	目標値	3	3	3	3
				実績値	2	2		
		算出根拠等	回数	達成率(%)	67	67		
	成果 指標	官道を活用したイベント回数	回	目標値	2	3	3	3
				実績値	2	3		
		算出根拠等	回数	達成率(%)	100	100		
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
算出根拠等		達成率(%)						
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	位山道(東山道飛騨支路)として都から飛騨へと文化が伝わった歴史ある道をより多くの人々に知ってもらう取組みが必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	草刈りの他、官道の整備を実施する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	歴史ある官道を守り、高山の文化にかかる官道の重要性を後世に引き継ぐために、引き続き事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	・市内外へのPRや利活用について検討する必要がある。	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 45	66	600	400
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 0	1	6	4
	受益者 全市民(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・位山道の維持管理(草刈り)の実施	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支 所	・市民参加や保存団体の組織化による保存活動が必要である。	文化 財課	・文化財の保護、啓発は継続的に行うことが大切である。指定文化財であり、 石畳の修復には歴史的な検証が必要である。
						地域 政策 課	施設の利用者増のためのPR等検討することが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		600	400	△ 200	300	300	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	600	400	△ 200	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	95199	地域スポーツ振興事業 (一之宮体育大会開催事業)	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約
	種別			款	9	教育費		○	B			
担当課	一之宮支所 地域振興課		内線 3421	項	5	保健体育費		C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	140 千円	
	目	1		体育総務費	D	その他事業						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたい のか (意図)	・町民がスポーツに親しむことで健康増進を進めるとともに、コミュニティ醸成の向上を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・一之宮体育大会事業への助成。 ・体育大会の開催(ソフトバレー、野球、ソフトボール、卓球、ゲートボール、剣道、グランドゴルフ、スキー)
	対象者数	2,625 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	一之宮町社会教育推進運営委員会体育部によって8月28日に一之宮体育大会が実施された。(参加者350人)						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	競技参加者数	人	目標値	450	450	450	450
成果 指標	町内加入率	%	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等	町内加入世帯数/全世帯数	実績値	76	75		
成果 面	算出根拠等		達成率(%)	100	78		
			目標値				
補 足	算出根拠等		実績値				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域の中で長年継続され、定着している事業なので、自主運営による継続実施に向けた調整が必要である。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・一之宮町民の社会体育の振興と健康増進といった観点から引き続き実施していくとともに、自主運営による継続実施に向けた調整を図る。	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善	・一之宮町民の社会体育の振興と健康増進といった観点から引き続き実施していくとともに、自主運営による継続実施に向けた調整が必要である。
	○ 縮小	
二次 評価	○ 維持・改善	・地域の自主的な活動とすべく、負担金の段階的な引き下げを行う必要がある。 ・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	○ 縮小	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	170	160	150	140
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	64	61	57	53
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B)	2,641	2,633	2,625

5 予算編成(Action2)

事業内容	・一之宮体育大会事業への助成	要求の ポイント	地域の自主的な活動として事業を実施	事業 実施 の 課題	・実行委員会の自主事業として運営を確立し予算の縮減を図る。	ス ポ ー ツ 推 進 課	地域スポーツ振興事業は、地域の特性に応じた各種大会の開催や地域におけるスポーツ活動の推進等に対する助成として全支所地域において地域振興特別予算に計上されている。 現在、一般予算の中で地域におけるスポーツ教室の開催方法やスポーツイベントのあり方等について検討しているところであり、当面、当該事業を継続する中で、事業のあり方や一般予算との関係等を整理する必要がある。
地域 政 策 課	同上						

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	150	140	△ 10	140	140	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	150	140	△ 10	140	140		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	21899	「源流の里」ほたるの舞うりづくり事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	款			2	総務費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線 3431	項	1	総務管理費	目	18	環境政策費	H25計画額	400	千円		
				1	環境政策費								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・源流地域の恵まれた自然を守り、地域住民の愛郷精神を育む。	概要	事業の実施 手法(手段)	・ホテルの生息しやすい環境整備や生息調査を実施する ・生息調査地点には「蛍の舞う町」という看板を設置し、地域に啓発する
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルの生息調査 ・ほたるの環境整備 ・ほたるの講習会の開催 						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動 指標	ホテルの生息調査地点啓発看板設置数	箇所	目標値	5			
			実績値	5			
			算出根拠等	達成率(%)	100		
活動 指標	ホテル環境整備箇所数	箇所	目標値	2	2	2	1
			実績値	2	2		
			算出根拠等	達成率(%)	100	100	
成果 指標	ホテル個体確認数	匹	目標値	100	200	300	400
			実績値	97	235		
			算出根拠等	達成率(%)	97	118	
成果 指標			目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
成果 指標			目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
成果 指標			目標値				
			実績値				
			算出根拠等	達成率(%)			
補足	・有識者の意見を聞くホテル保護講習会を開催し、ホテルが生息できる環境づくりの充実に取り組んでいる						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・ホテルの個体数を更に増加させるため、新たな場所の環境整備が必要となっている
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・ホテルの個体数を増加させるべく、新たな場所の環境整備を実施する	
次年度 の 実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・ホテルの環境整備は継続して実施していくとともに、環境保全としての情報発信など活用方法を検討する
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・他の地域とのバランスを考慮し、今後の支援のあり方を検討する必要がある。 ・一般予算で実施している蛍保護推進事業との整合を図る必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	289	255	400	401
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	3	3	4	4
	受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	ホテルの保護育成を行うための生育調査及び環境整備	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	支所 ホテルの個体数を増加させるべく、環境整備を継続して行う必要がある。	環境 政策 推 進 課	地域振興特別予算措置期間終了後を見据えた方針の策定が必要である。
					地域 政策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		400	401	1	400	400	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	400	401	1	400	400		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	53299	ダナ平林道整備事業	内線	3431	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	款					5	農林水産業費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 基盤産業課			3431	予算	項	3	林業費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000	千円	
	目	2	林業振興費			D	その他事業								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	ダナ平林道利用者	どうしたい のか (意図)	・林業の振興と森林のもつ多面的な機能を維持する	概要	事業の実施 手法(手段)	・勾配が急な区間において計画的に舗装を新設整備する
	対象者数	2,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・舗装の新設工事を実施する						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	舗装済延長	m	目標値	1,959	2,279	2,599	2,879
	実績値		1,969	2,283			
	算出根拠等		達成率(%)	101	100		
成果 指標	位山登山者数	人	目標値	1,800	1,900	2,000	2,100
	実績値		1,750	2,270			
	算出根拠等		達成率(%)	97	119		
成果 面			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
	実績値						
	算出根拠等		達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・コスト削減に努め、計画的に事業推進を行う
---------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・利用者の利便性の向上を図るため早期発注に努める	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・できるだけ早期に完成するよう計画的に事業推進を行う
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	4,841	4,841	5,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2,766	2,133	2,500	2,381
	受益者	位山登山者	(B)	1,750	2,270	2,000

5 予算編成(Action2)

事業 内容	ダナ平林道急勾配部分の舗装新設整備	要求の ポイント	林道の急勾配部を計画的に舗装新設するために必要な工事費を計上	事業 実施の 課題	支所	計画的かつ早期完成を目指した事業実施が必要である。	林務課	・地域振興特別予算終了後の計画を策定する必要がある。
								地域政策課

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,000	5,000	0	5,000	5,000	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	2,500	2,500	0	2,500	2,500		
	その他			0				
	一般財源	2,500	2,500	0	2,500	2,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62399	スキー場案内看板撤去事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画		市長 公約
	種別			款	6	商工費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	一之宮支所基盤産業課	内線	0	項	2	観光費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
				目	2	観光施設費		D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	モンデウス飛騨位山スノーパーク来場者数	どうしたいのか (意図)	・老朽化し、PR効果が少ないスキー場案内看板を撤去する	概要	事業の実施 手法(手段)	・工事請負による
	対象者数	50,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	0							
成果面	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
				目標値				
	実績値							
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	実績値							
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	実績値							
	算出根拠等			達成率(%)				
				目標値				
	実績値							
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
実績値								
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
実績値								
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次年度の実 施方針	一次評価	維持・改善
		拡大
		縮小
	二次評価	廃止検討
		維持・改善
		縮小

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 0	0	0	311
	受益者1件当たり(円)	(A/B)			6
	受益者	0 (B)	0	0	0

5 予算編成(Action2)

事業内容	老朽化したスキー場案内看板の撤去	要求の ポイント	案内看板撤去に必要な工事費の計上	事業実施の 課題	支所	老朽化しPR効果が少ない案内看板は撤去する必要がある	観光課	看板の老朽化が進んでいるため、撤去すること。
	地域政策課							

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)			311	311	300	300	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源		311	311	300	300		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	「源流の里」登山道・遊歩道整備事業	予 算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	課 6			商工費		B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線 3431	項 2 観光費	目 3 自然公園費	O	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	5,000 千円		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	登山道利用者	どうしたい のか (意図)	・恵まれた自然を守り、新たな観光スポットとして創出する	概要	事業の実施 手法(手段)	・登山道・遊歩道など自然とのふれあいや自然を学ぶことができる場の整備をする
	対象者数	2,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	餅谷登山道・遊歩道の整備						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	登山道・遊歩道整備延長	m	目標値	1,800	2,900	4,550	3,900
			実績値	1,800	2,900		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 指標	位山登山者数	人	目標値	1,800	1,900	2,000	2,100
			実績値	1,750	2,270		
	算出根拠等		達成率(%)	97	119		
成果 面			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足			目標値				
			実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
・遊歩道や登山道を整備することにより、餅谷の滝など新たな観光スポットが再発見されている							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・コスト削減に努め、計画的に事業推進を行う
---------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・利用者の利便性の向上を図るため早期発注に努める	
次年度 の実施 方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・できるだけ早期に完成するよう計画的に事業推進を行う
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・整備した登山道等の活用を促進を図る必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 4,515	4,899	6,000	6,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2,580	2,158	3,000	2,857
	受益者 位山登山者	(B) 1,750	2,270	2,000	2,100

5 予算編成(Action2)

事業 内容	位山登山道の改修整備 (山頂周辺、モンテウスゲレンデ内)	要 求 の ポ イ ン ト	降雨により荒廃している位山登山道を改修	事業 実 施 の 課 題	支 所	計画的かつ早期完成を目指した事業実施が必要である。	環境 政 策 推 進 課	地域振興特別予算措置期間に事業完了することが必要である。
							地 域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		6,000	6,000	0	5,000	5,000	・計画額どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	6,000	6,000	0	5,000	5,000		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62499	「源流の里」案内看板整備事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を 新たな観光資源として積極的に活用します
	款			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線 3431	項	目	2	観光費	O	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	1,000	千円	
				目	3	自然公園費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(一之宮地域)	どうしたい のか (意図)	・地域を訪れた方が安心して周遊できる観光地づくりを行う ・新たな景観の創出を図る	概要	事業の実施 手法(手段)	・景観と調和した地域の総合案内看板を計画的に整備する
	対象者数	200,000 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・木製案内看板の整備						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	総合案内看板設置数	箇所	目標値	1	1	1	1
成果 指標	観光客数(一之宮地域)	人	実績値	1	1		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100		
成果 面	算出根拠等		目標値	200,000	200,000	200,000	200,000
	算出根拠等		実績値	206,950	192,540		
補足	算出根拠等		達成率(%)	103	96		
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	算出根拠等		目標値				
	算出根拠等		実績値				
補足	算出根拠等		達成率(%)				
	算出根拠等		目標値				
補足	算出根拠等		実績値				
	算出根拠等		達成率(%)				
補足	・地域の景観にふさわしい案内看板を設置することにより、潤いとおちつきをもたらす美しい景観形成の向上が図られている						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・コスト削減に努め、計画的に事業推進を行う
---------------------	-----------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・利用者の利便性の向上を図るため早期発注に努める	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・計画どおり順次整備する
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	1,967	924	1,000	1,441
受益者	受益者1件当たり(円)	(A/B)	10	5	5	7
	観光客(一之宮地域)	(B)	206,950	192,540	200,000	200,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	一之宮地域の案内看板の設置やパンフレットの増刷	要求の ポイント	事業 実施 の 課題	案内看板については順次計画的に整備する必要がある。	環境 政策 推 進 課	地域 振 興 特 別 予 算 措 置 期 間 に 事 業 完 了 す る こ と が 必 要 で あ る。
支所					地域 政 策 課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	1,000	1,441	441	0	0	・案内看板は主要な箇所への整備が済んでいることから見送り	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	1,000	1,441	441	0	0		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	94799	天然記念物(希少動植物) 生態環境調査事業	予算	会計	1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市 長 公 約	9 伝統文化を守り、次代へ継承します ・高山固有の美しさを守り続け、歴史的、社会的に価値のある有形無形の 伝統文化や文化財などの資源を保存活用するために、美しいふるさと認証 制度を創設します。
	款			9 教育費	B 一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線 3421	項	4 社会教育費	目	7 文化財費	○ C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	
			目	7 文化財費		D その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・一之宮地域には市指定天然記念物として希少動植物(苅安湿原植物群自生地、バイカモ、ミヤマシジミ)が指定されているが、昨今の環境変化等による影響が危惧されている。当該動植物の生態状況調査をすることで、今後の保護対策を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・苅安湿原環境対策調査(湿原保全、植生保存等対策方法の検討等) ・ミヤマシジミ、バイカモの生態調査および保存対策の検討
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	H24新規事業							
活動 指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	現地生態調査の実施回数		回	目標値			8	0
成果 指標	算出根拠等			実績値				
				達成率(%)				
成果 指標	湿原回復率		%	目標値			80	100
	算出根拠等		湿原回復面積/湿原全地面積	実績値				
成果 指標				達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
成果 指標				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				
補 足				目標値				
	算出根拠等			実績値				
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況		
次 年 度 の 実 施 評 価	○ 維持・改善	・本年度の調査結果をもとに、保護対策を検討し、天然記念物(苅安湿原、バイカモ、ミヤマシジミ)の保護育成の処置を実施する。
	拡大 縮小 廃止検討	
二 次 評 価	○ 維持・改善	・市指定天然記念物保護における市全体のバランスを考慮しつつ、文化財課と調整を図りながら実施する必要がある。
	拡大 縮小 廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 0	0	1,200	834
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 0	0	13	9
	受益者 全市民(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	・天然記念物の生息環境の改善を行う	要 求 の ポ イ ン ト	事業 実施 の 課 題	支 所	・事業による環境改善の後に継続した監視が必要	文 化 財 課	・天然記念物の保護、育成は継続的に行うことが大切である。地域と連携し 計画的な事業実施が必要である。
	地域 政策 課			地域の自主的、主体的な保護活動の促進に結びつける必要がある。			

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増 減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		1,200	834	△ 366	830	830	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	1,200	834	△ 366	830	830		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	62199	清酒臥龍桜醸造助成事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	1 積極的な観光振興策を実施します ・高山にふさわしい土産物の開発、生産、パッケージ化、販売を支援します
	款			6	商工費	B		一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 基盤産業課	内線 3431	項	目	2	観光費	○	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	150 千円		
				目	1	観光振興費		D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	どうしたい のか (意図)	・地域の特産品として清酒臥龍桜を利用した観光振興を図る ・臥龍桜日本画大賞展の知名度アップを図る	概要	事業の実施 手法(手段)	・清酒臥龍桜を一之宮地域のみで限定販売する ・清酒ラベルに日本画大賞展審査員の原画を採用する ・清酒臥龍桜を醸造する飛騨一之宮酒販売組合に補助金を交付する
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績		・清酒臥龍桜のラベル原画代 ・臥龍桜・桜まつり会場における啓発宣伝(試飲)活動						
活動 指標	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	清酒臥龍桜出荷本数	本	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
	実績値		2,000	2,000				
	算出根拠等		達成率(%)	100	100			
成果 指標	清酒臥龍桜販売本数	本	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	
	実績値		2,000	1,800				
	算出根拠等		達成率(%)	100	90			
成果 面			目標値					
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
			目標値					
	実績値							
	算出根拠等		達成率(%)					
補足	・特産品としての宣伝効果以外に臥龍桜や臥龍桜日本画大賞展の宣伝に波及効果がある							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・消費者ニーズによる出荷本数の検討やPR方法の検討を行う
---------------------	------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・消費者ニーズによる出荷本数の検討やPR方法の検討を行う	
次年度 の実施 方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・事業者が自主的に取り組みことができるよう課題の整理を行う
	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、行政の関与・負担金について縮小(廃止)を検討していく必要がある。

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	150	150	150	150
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	2	2	2	2
	受益者	全市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成(Action2)

事業 内容	清酒ラベルの作成とPRに対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	観光課	酒販組合での自主事業化に向けて検討すること。
				地域 政策課	事業者が自主的に取り組むことができるようにすることが必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		150	150	0	150	150	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	150	150	0	150	150		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	74699	地域公園管理振興事業	内線	3411	特別 予算の 位置 付け	会計 1 一般会計	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	千円	市長 公約
	款 7 土木費					B 一般予算の上乗せとして実施されている事業				
担当課	一之宮支所 地域振興課		予算	目 6 公園管理費	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円	市長 公約		
	項 4 都市計画費	D その他事業								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 全市民	どうしたい のか (意図)	・土地開発基金保有地(公園用地)の買戻しをする	概要	事業の実施 手法(手段)	・地区公園一箇所(臥龍公園)の一般予算による買戻し
	対象者数	92,861 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	指標名	単位	目標・実績		H22	H23	H24	H25
			目標値	実績値				
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況																	
次年度の 実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課 評価</td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td>二次 評価</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> <tr> <td></td> <td>維持・改善</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課 評価	維持・改善	二次 評価	拡大		縮小		廃止検討		維持・改善		拡大		縮小		廃止検討
担当課 評価	維持・改善																
二次 評価	拡大																
	縮小																
	廃止検討																
	維持・改善																
	拡大																
	縮小																
	廃止検討																

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
歳出(千円)	(A)	0	0	0	4,104
受益者1件当たり(円)	(A/B)				44
受益者	全市民 (B)				92,861

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公園用地購入(臥龍公園)	要求の ポイント	事業実施の 課題	都 市 整 備 課	・他の土地開発基金公園用地についても計画的な買戻しが必要である
				地 域 政 策 課	・合併前に公園用地として基金で取得した用地の買戻しが必要である

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	0	4,104	4,104	3,900	3,900	・積算内容を精査	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	0	4,104	4,104	3,900	3,900		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	92299	学校間交流助成事業		会計	1	一般会計	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長公約
種別			予算	款	9	教育費	B	一般予算の上乗せとして実施されている事業			
担当課	一之宮支所 地域振興課	内線	3413	項	2	小学校費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	280 千円	
				目	2	教育振興費	D	その他事業			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の小学5年生	どうしたいのか(意図)	・神通川の源流域と下流域(富山県岩瀬地区)の子どもたちが交流することで、源流域の森の大切さを知るとともに自然保護の重要性を学んでもらう。	概要	事業の実施手法(手段)	・神通川の最終到達点である富山県岩瀬地区の小学5年生との交流を実施する。 ・宮小学校での「がりゅう発表会」で体験研究結果発表会を実施する。
	対象者数	34 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・6月、宮川(神通川)の源流域の宮小学校児童(5年生)と河口域の富山市の岩瀬小学校児童と交流を行った。 ・12月、宮小学校での「がりゅう発表会」で体験研究結果発表会を実施した。							
成果指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	参加人数	人	目標値	25	26	34	34
	算出根拠等			実績値	25	25		
成果指標	交流参加率		%	目標値	100	100	100	100
	算出根拠等	参加者数/対象者数		実績値	100	96		
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績値				
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績値				
成果面				目標値				
	算出根拠等			実績値				
補足				目標値				
	算出根拠等			実績値				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域振興特別予算終了を見据え、現在実施している他市町村学校との交流の高山市全体のバランスを考慮し、縮小・事業統合・自主事業化などを検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・源流域の役割を認識させるための事業として重要であるので、26年度まで引き続き実施していく。 ・「岩瀬小との交流実行委員会」の明確化が必要。 ・一之宮社教こども会主催の同種の事業との将来に向けた調整も必要。	
次年度の実施方針	維持・改善	・源流域の役割を認識させるための事業として重要であるので、26年度まで引き続き実施する。地域振興特別予算終了を見据え、高山市全体の他市町村等の学校間交流のバランスを考慮する必要がある。また、交流相手の学校も年間行事日程策定があるため、廃止または事業変更等は2年程前に通知が必要と思われる。
	拡大	
二次評価	縮小	・特例期間終了を見据え、市全体のバランスを考慮し、縮小(廃止)を検討する必要がある。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A)	110	110	110
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	4,400	4,231	3,235
	受益者	一之宮地域小学5年生	(B)	25	26

5 予算編成(Action2)

事業内容	・神通川の源流域地域の宮小学校児童(5年生)と最下流域地域の富山市岩瀬小学校児童との交流に対する助成 川(水流)についての学習とその研究発表。	要求のポイント	・自然保護の重要性を学ぶため、地元地域の自然環境学習を実施	事業実施の課題	・27年度以降の事業への取組方針の明確化	学校教育課	特定地域の学校による他都市との交流事業に対する取組方針を定める必要がある。
						地域政策課	同上

事業費(人件費除く)	H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	110	110	0	110	110	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
その他			0				
一般財源	110	110	0	110	110		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域振興助成事業	内線	3411	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを生かし、それぞれの地域の特性をのぼす。 ・地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、権限と予算の再構築を行います。
	B					一般予算の上乗せとして実施されている事業					
担当課	一之宮支所 地域振興課					C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	3,500	千円	
						D	その他事業				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたいのか (意図)	・地域住民の創意と工夫による魅力ある地域づくりを推進するため、住民自らが主体となって事業に取り組むことにより、地域の活性と地域コミュニティの醸成を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	・地域住民が自主的に取り組む、公共性の高い事業に対するの助成。
	対象者数	2,625					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	一之宮地域の町内会や任意団体 計10団体から申請および実績があった。住民自らが主体となって地域振興事業に取り組まれた結果、安全安心な住環境が整うとともに、特色ある地域づくりや地域活性化、地域コミュニティの醸成が図られた。							
活動指標	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	補助金交付申請件数	件	目標値	10	10	10	4	
活動指標	算出根拠等 交付申請件数		達成率(%)	70	100			
	補助金交付申請額	千円	目標値	3,000	3,000	3,500	1,500	
活動指標	算出根拠等 交付申請額		達成率(%)	94	95			
	補助金交付実績件数	件	目標値	10	10	10	4	
成果指標	算出根拠等 交付実績件数		達成率(%)	70	100			
	補助金交付実績率	%	目標値	90	90	90	90	
成果指標	算出根拠等 交付実績額/予算額		達成率(%)	104	105			
			目標値					
補足			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・住民の自主的な取り組みをさらに進めるため、事業PRを強化しながら住民の主体性の向上を図る必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・町内会長会や班長会で地域振興事業補助金について説明するとともに、申請時における相談にも対応する。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	・住民の主体的な地域振興事業活動という観点から、引き続き実施する。また、平成26年度を終期としている事業であることから、平成27年度以降の対応も検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	2,825	2,835	3,500	1,500
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,070	1,077	1,333	571
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B)	2,641	2,633	2,625

5 予算編成(Action2)

事業内容	・地域住民が自主的、主体的に取り組む公共性の高い地域づくり事業に対する助成	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	---------------------------------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,500	1,500	△ 2,000	1,500	1,500	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源 内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	3,500	1,500	△ 2,000	1,500	1,500		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	20999	地域要望対応事業	予算	会計	1	一般会計	特別 予算の 位置 付け	A	合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	地域振興計画	市長 公約	合併のメリットを生かし、それぞれの地域の特性をのぼす。 ・地域住民から信頼される支所運営を目指し、支所機能の強化をはかるために、権限と予算の再構築を行います。		
				款	2	総務費		B	一般予算の上乗せとして実施されている事業						
担当課	一之宮支所 地域振興課			内線	項	1		総務管理費	C	終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額			3,000	千円
				3411	目	9		企画費	D	その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	一之宮地域の住民	どうしたい のか (意図)	・市有施設の修繕等、地域からの要望に即座に対応する。	概要	事業の実施 手法(手段)	・市道、水路など公共施設の軽微な修繕。
	対象者数	2,625 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	地域から9件の要望があり、市道の修繕工事を行った。支所長権限で即座に対応できることから、地域の安全性が迅速に確保された。							
成果 面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動 指標	要望対応件数	件	目標値	6	10	10	6
				実績値	4	9		
	算出根拠等	要望対応件数	達成率(%)	67	90			
	成果 指標	事業実績(率)	%	目標値	90	90	90	90
				実績値	28	99		
	算出根拠等	実績金額/予算額	達成率(%)	31	110			
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	・地域要望対応事業のさらなる活用を進めるために、地域へのPRを強化していく必要がある。
---------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H24対応状況	・町内会長会や班長会で地域要望対応事業について説明するとともに、要望書提出時にもアドバイス等を行っている。	
次年度 の実施 方針	○維持・改善	・地域の要望に即座に対応していくという観点から、引き続き実施する。また、平成26年度を終期としている事業であることから、平成27年度以降の対応も検討する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
廃止検討		

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	848	4,952	8,500	4,640
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	321	1,881	3,238	1,768
	受益者	一之宮地域住民(4月1日現在)	(B)	2,641	2,633	2,625

5 予算編成(Action2)

事業内容	・公共施設等の軽微な修繕	要求の ポイント	事業 実施の 課題	支所	地域 政策 課	地域 政策 課
------	--------------	-------------	-----------------	----	---------------	---------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,500	4,640	△ 3,860	7,700	7,700	・配分額の調整	・財務部調整のとおり
財 源 内 訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	8,500	4,640	△ 3,860	7,700	7,700		

平成25年度 事業別予算概要(地域振興特別予算)

事業名	種別	土地借上料	内線 3431	予 算	会計 1 一般会計	特別 予算の 位置 付け	A 合併前から実施されているイベント・行事	根拠計画	市長 公約
					款		○ B 一般予算の上乗せとして実施されている事業		
担当課	一之宮支所	目	項	C 終期を定めて実施する事業・単年度事業	H25計画額	千円			
			目	D その他事業					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 各施設利用者	どうしたいのか(意図)	施設用地の借上げ	概要	事業の実手法(手段)
	対象者数 90,000 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H23実績	・JR飛騨一ノ宮から臥龍公園連絡通路用地借上げ A=470㎡ ・モンデウス飛騨位山スノーパーク案内看板用地借上げ A=8.6㎡ ・簡易水道配水管路用地借上げ A=37㎡							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	用地の借上げ面積	㎡	目標値	516	516	478	478
				実績値	516	516		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	臥龍桜・桜まつり来場者数	人	目標値	40,000	40,000	40,000	40,000
				実績値	50,000	35,000		
				算出根拠等	達成率(%)	125	88	
	活動指標	モンデウス飛騨位山スノーパーク来場者数	人	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
				実績値	43,195	45,072		
				算出根拠等	達成率(%)	86	90	
	活動指標	簡易水道利用者数(給水人口)	人	目標値	2,740	2,740	2,740	
				実績値	2,602	2,641		
算出根拠等				達成率(%)	95	96		
補足				目標値				
				実績値				
	算出根拠等			達成率(%)				

補足
 ・簡易水道配水管施設用地については、交渉により市の基準単価となった
 ・モンデウス飛騨位山スノーパーク案内看板用地については、看板の老朽化により一部廃止した

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・市としては現在必要な用地ではあるが、施設の継続性も含め、市の基準単価となるよう継続して交渉する
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH24対応状況	・市の基準に近づこう単価交渉を継続する必要がある	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	・市としては現在必要な用地ではあるが、施設の継続性も含め、市の基準単価となるよう継続して交渉する
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○ 維持・改善	・市の基準に近づこう単価交渉を継続する必要がある。
	縮小	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 894	467	447	447
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 9	6	5	5
	受益者 各施設利用者	(B) 95,797	82,713	92,740	90,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・スキー場案内看板土地借上料 ・臥龍公園内通路土地借上料	要求のポイント	事業実施の課題	支所	・市の基準に近づこう単価交渉を継続する必要がある。	複数課	・施設の継続運営のため、市基準での土地借上料に近づこう単価交渉を継続する必要がある。
						地域政策課	・地域振興特別予算措置期間に基準内の借地料となるよう交渉が必要である。

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部調整額	市長査定額	財務部調整の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		447	447	0	447	447	・要求どおり	・財務部調整のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	447	447	0	447	447		